

【引受保険会社】

# Global Partner/Net VA

## グローバルパートナー/Net VA



redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

\* Global Partnerおよび Net VA は、弊社変額個人年金保険の販売名称です。

# 月次運用レポート

## 2013年11月

【利用する投資信託の委託会社】

### アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

### アライアンス・バーンスタイン\* / アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン\*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

\*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要 / 注意喚起情報) (\*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。
- \* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

# 変額個人年金保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に關しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2013年11月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比5.39%上昇の1,258.66ポイントで終了しました。

月前半は、ECB(欧州中央銀行)の予想外の利下げで為替が円高に振れたことなどから一時下落しましたが、その後は、2013年7-9月期のGDP(国内総生産)速報値が予想を上回ったことなどから上昇しました。月後半は、年初来高値に近付いたことへの警戒感などから弱含む局面もありましたが、米国株式市場が一部の経済指標の改善を受けて過去最高値を更新したことに加え、円安が進んだことなどを背景に上昇しました。

業種別(東証33業種)では、株式市場の上昇を好感し「証券、商品先物取引業」(前月末比+12.48%)が最も上昇した一方、為替の円安進展から「空運業」(同-4.38%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、市場予想を上回る経済指標や、次期FRB(米連邦準備制度理事会)議長候補のイエレン副議長が上院公聴会で金融緩和策の継続を示唆したことなどから、上昇しました。月後半は、10月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨から量的緩和縮小が意識された一方、緩和的な政策自体は長期化するとの見方などから上昇基調で推移し、NYダウは、前月末比3.48%上昇の16,086.41ドルで終了しました。

欧州株式市場は、ECB高官から金融緩和姿勢が示されたことや、ドイツ主要政党内閣で連立政権樹立について合意されたことなどにより、ドイツ株式市場が上昇する一方で、英国で利上げ時期が早まる可能性との観測などから英国株式市場が下落し、また、フランス長期価格付け引き下げなどによりフランス株式市場が下落しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比-1.20%下落、仏CAC40が同-0.11%下落、独DAXが同4.11%上昇となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、国債需給の逼迫感が強いものの、国内株式市場の上昇や米国の金利上昇などを背景に、金利は上昇(価格は下落)しました。月後半は、40年物や2年物の国債入札が好調だったほか、日本銀行の国債買い入れペースで需給逼迫が意識されるなど低下(価格は上昇)基調で推移しましたが、月を通して、新発10年国債利回りは0.600%となりました(前月末は0.590%)。

日銀はマネタリーベースが年間約60~70兆円に相当するペースで増加するように金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、10月の非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、市場参加者の間で量的緩和の早期縮小観測が高まったことなどから、金利は上昇(価格は下落)しました。月後半も、10月のFOMC議事要旨から量的緩和縮小が早まるとの見方がさらに強まり、上昇基調で推移しました。米10年国債利回りは、月末は2.745%となりました(前月末は2.554%)。

欧州債券市場は、月前半、ECBが市場予想に反し政策金利を引き下げたことなどから、金利が低下(価格は上昇)する局面もありましたが、堅調な米雇用統計などを受けて、上昇(価格は下落)しました。月後半は、10月のFOMC議事要旨から米国の量的緩和縮小が早まるとの見方が強まり、上昇しましたが、その後は、ECBの追加金融緩和観測の高まりなどから低下し、月を通して、独10年国債利回りは、月末は1.693%となりました(前月末は1.674%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECBは政策金利を0.25%引き下げ、年0.25%としました。

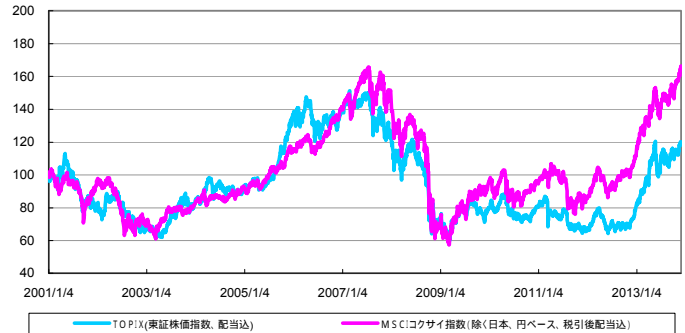
#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、月前半、堅調な米雇用統計などを受けて米ドル買いの動きが強まり、日米金利差の拡大も後押しとなり、円安が進行了。月後半も、米国の量的緩和縮小観測を背景に円安米ドル高が加速し、円は対ドルで前月末比3円91銭(3.97%)円安ドル高の1ドル=102円42銭となりました。

ユーロ/円相場は、月前半、ECBが政策金利を引き下げたことなどからユーロが売られ一時的に円高となった後、ドイツ株式市場が上昇するにつれてユーロも上昇し、円安の動きとなりました。月後半は、ドイツと野党が大連立政権の樹立で合意したことなどからユーロが上昇し、円は対ユーロで前月末比4円19銭(3.10%)円安ユーロ高の1ユーロ=139円46銭となりました。

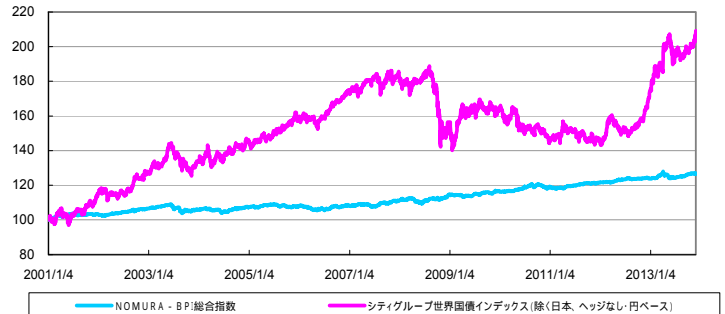
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

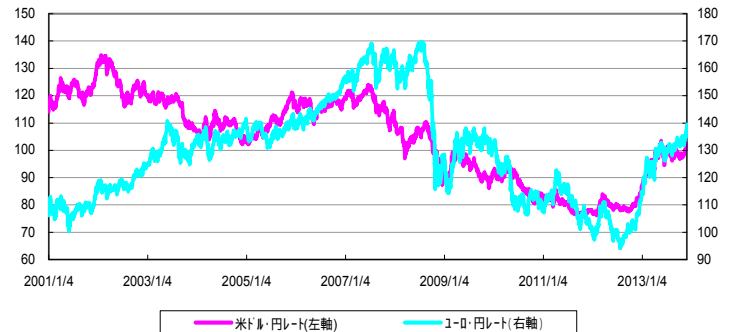


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
			投資信託名	委託会社
ライフ・ソリューション30	株式 30%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 70%			
ライフ・ソリューション50	株式 50%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の50%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 50%			
ライフ・ソリューション70	株式 70%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
	債券 30%			
日本株式	日本株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
世界株式	世界株式 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり)	アライアンス・バーンスタイン株式会社
世界債券	世界債券 100%	主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーンスタイン グローバル・ボンド・ポートフォリオ (クラスS1受益証券)	アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー
マネー・プール	短期金融資産 100%	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。  
特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

# 変額個人年金保険

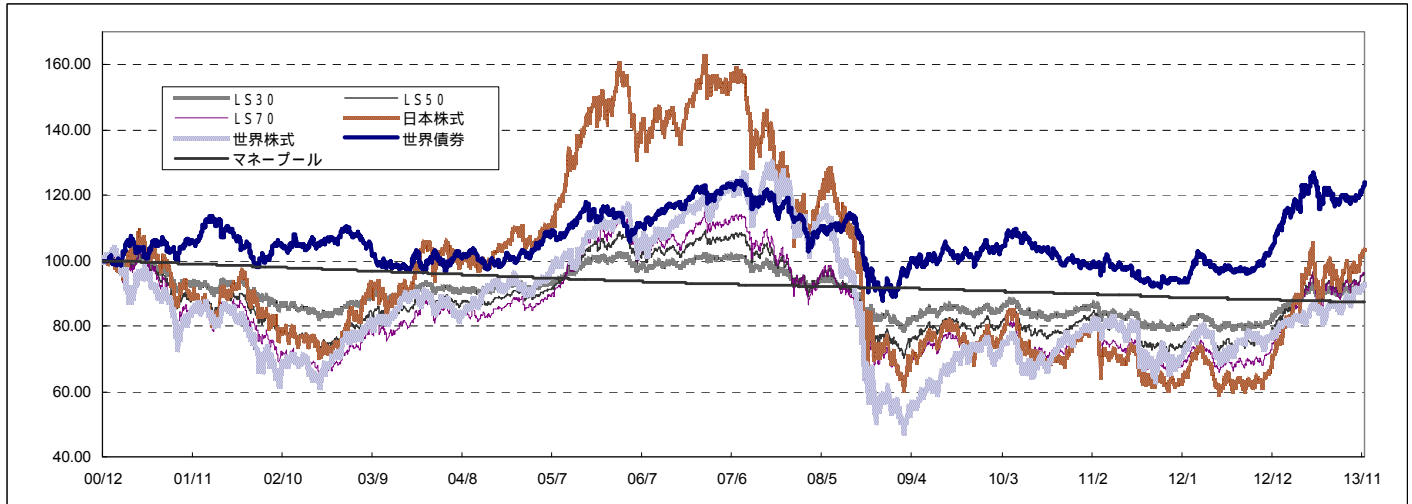
## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [2013年11月 末日現在]

#### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフ・ソリューション30			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	92.51	過去1ヵ月	1.42
2013年10月末	91.22	過去3ヵ月	3.67
2013年9月末	90.99	過去6ヵ月	2.63
2013年8月末	89.24	過去1年	14.00
2013年7月末	89.92	過去3年	10.66
2013年6月末	89.71	設定来	▲7.48

ライフ・ソリューション50			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	95.90	過去1ヵ月	2.57
2013年10月末	93.50	過去3ヵ月	6.74
2013年9月末	93.12	過去6ヵ月	4.93
2013年8月末	89.85	過去1年	25.03
2013年7月末	91.05	過去3年	21.39
2013年6月末	90.61	設定来	▲4.09

ライフ・ソリューション70			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	96.38	過去1ヵ月	3.47
2013年10月末	93.15	過去3ヵ月	9.23
2013年9月末	92.62	過去6ヵ月	6.77
2013年8月末	88.24	過去1年	34.95
2013年7月末	89.82	過去3年	30.76
2013年6月末	89.24	設定来	▲3.61

日本株式			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	103.31	過去1ヵ月	5.64
2013年10月末	97.79	過去3ヵ月	13.54
2013年9月末	97.58	過去6ヵ月	9.41
2013年8月末	90.99	過去1年	57.84
2013年7月末	93.53	過去3年	42.86
2013年6月末	93.84	設定来	3.32

世界株式			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	92.75	過去1ヵ月	1.65
2013年10月末	91.24	過去3ヵ月	9.91
2013年9月末	88.21	過去6ヵ月	7.86
2013年8月末	84.39	過去1年	20.69
2013年7月末	85.85	過去3年	24.88
2013年6月末	82.59	設定来	▲7.24

世界債券			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	124.12	過去1ヵ月	3.47
2013年10月末	119.96	過去3ヵ月	4.46
2013年9月末	118.54	過去6ヵ月	▲0.06
2013年8月末	118.82	過去1年	21.67
2013年7月末	118.98	過去3年	22.03
2013年6月末	119.42	設定来	24.13

マネーパール			
ユニットプライス	騰落率 (%)		
2013年11月末	87.23	過去1ヵ月	▲0.10
2013年10月末	87.32	過去3ヵ月	▲0.25
2013年9月末	87.40	過去6ヵ月	▲0.58
2013年8月末	87.45	過去1年	▲0.98
2013年7月末	87.55	過去3年	▲3.02
2013年6月末	87.63	設定来	▲12.77

特別勘定のユニットプライスは、2000年12月18日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページ(下記参照)、  
およびインターネット対応の携帯電話 (<https://online.axa.co.jp/ClientWeb/mobile.jsp>)にて各営業日に  
ご確認いただくことができます。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフ・ソリューション30		ライフ・ソリューション50		ライフ・ソリューション70	
	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	123,983	4.4	270,647	4.2	166,147	4.2
その他有価証券	2,699,646	95.6	6,161,157	95.8	3,815,409	95.8
合計	2,823,630	100.0	6,431,805	100.0	3,981,556	100.0

項目	日本株式		世界株式		世界債券		マネーパール	
	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	174,525	4.2	113,057	4.5	117,967	4.7	24,892	6.2
その他有価証券	4,006,113	95.8	2,373,585	95.5	2,414,995	95.3	378,027	93.8
合計	4,180,638	100.0	2,486,642	100.0	2,532,962	100.0	402,920	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

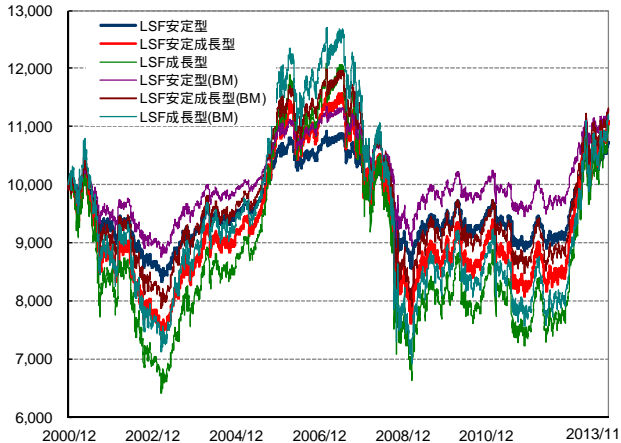
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート(2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフ・ソリューション30・50・70 [2013年11月 末日現在]

### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 LS30 アクサローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定型(B) 適格機関投資家私募  
LS50 アクサローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 安定成長型(B) 適格機関投資家私募  
LS70 アクサローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド 成長型(B) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャー株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本および欧米各国の株式・公社債を対象に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。株式の実質組入れ比率は純資産の30%・50%・70%程度を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主として  
アクサローゼンバーク・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募、  
アクサローゼンバーク・米国株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募、  
アクサローゼンバーク・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募、  
アクサローゼンバーク・日本債券マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募、  
アクサローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募  
に投資します。

- \* LS: 特別勘定 ライフ・ソリューション
- \* LSF: アクサローゼンバーク・ライフ・ソリューション・ファンド

### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
LSF安定型	1.59%	4.17%	3.41%	15.86%	15.15%	7.33%
BM	1.39%	3.90%	3.59%	14.42%	14.33%	12.99%
差	0.20%	0.27%	0.18%	1.44%	0.82%	5.66%
	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
LSF安定成長型	2.79%	7.36%	5.81%	27.32%	26.66%	10.90%
BM	2.31%	6.42%	5.62%	24.64%	23.20%	13.10%
差	0.48%	0.93%	0.19%	2.68%	3.46%	2.20%
	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
LSF成長型	3.74%	9.99%	7.73%	37.70%	36.62%	10.09%
BM	3.18%	8.93%	7.55%	35.17%	31.97%	11.94%
差	0.56%	1.07%	0.18%	2.53%	4.66%	1.85%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	LSF安定型	LSF安定成長型	LSF成長型
東証株価指数(TOPIX) <sup>1)</sup>	24.00%	40.00%	55.00%
S&P500種株価指数 <sup>2)</sup> (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%	5.00%	7.50%
MSCI欧州株価指数 <sup>3)</sup> (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)	3.00%	5.00%	7.50%
日興債券パフォーマンス・インデックス (総合 <sup>4)</sup> 、中期3年以上7年未満)	30.00%	25.00%	17.50%
日本円無担保コールオーバーナイト物レート <sup>5)</sup> により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの	40.00%	25.00%	12.50%

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### 当投資信託の資産配分比率

	基本資産配分	LSF安定型	基本資産配分	LSF安定成長型	基本資産配分	LSF成長型
日本株式	24.00%	26.05%	40.00%	45.74%	55.00%	60.04%
米国株式	3.00%	4.35%	5.00%	7.30%	7.50%	10.36%
欧州株式	3.00%	4.40%	5.00%	7.19%	7.50%	9.95%
日本債券	30.00%	31.09%	25.00%	23.79%	17.50%	16.31%
短期金融資産等	40.00%	34.12%	25.00%	15.99%	12.50%	3.34%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

各資産の投資信託欄は、原則、当投資信託における各マザー・ファンド保有率を記載しております。(短期金融資産等については、当投資信託で保有する現金等も含んでおります。)

### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は、LSF30(安定型)、LSF50(安定成長型)、LSF70(成長型)それぞれ、前月末比+1.59%、+2.79%、+3.74%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は、前月末比+1.39%、+2.31%、+3.18%となり、ベンチマーク対比+0.20%、+0.48%、+0.56%となりました。

ISM(米サプライマネジメント協会)製造業景況感指数(10月)や米雇用統計の非農業部門雇用者数(10月)や等好調な経済指標と、イエレンFRB(米連邦準備制度理事)次期議長が量的緩和の長期化を示唆したこと等を背景に、米国株式市場は上昇しました。米国の好調な経済指標と量的緩和の長期化観測でリスク選好志向が高まり、円安基調の強まりも追い風となり、日本株式市場は大きく上昇しました。ECB(欧州中央銀行)は低インフレの長期化を懸念して予想外の利下げに踏み切りました。また、7~9月期のユーロ圏実質GDP成長率は前期比0.1%増と前期よりも鈍化しました。こうした景気回復の遅れを背景に欧州株式市場の上昇は限定的でした。予想を上回る強さを示した米雇用統計などにより米国債利回りは上昇しましたが、日銀による量的緩和策の継続観測から日本国債利回りはわずかな上昇にとどまりました。為替は、リスク選好志向の高まりから、対ドル、対ユーロともに円安となりました。

当月の投資信託は、資産配分と銘柄選択の両者がベンチマーク対比のパフォーマンスにプラス寄与しました。資産配分では、多めに保有していた日本株式市場が大きく上昇したことが主にプラス寄与しました。一方、銘柄選択では、日本株式ファンドが大きくプラス寄与しました。また、米国株式ファンドの銘柄選択もプラス寄与しました。委託会社は今後、世界経済は潜在成長率を若干上回る成長になるとみています。当投資信託については、ベンチマークに対してマネー・プールファンドへの配分比率を低位として株式の配分比率を高める戦略を維持する方針です。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「1~7」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

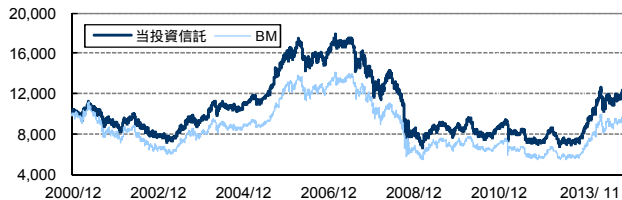
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 日本株式 [2013年11月 末日現在]

### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

### 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	6.04%	14.55%	10.57%	62.16%	50.55%	23.84%
BM	5.39%	13.80%	10.82%	61.07%	46.20%	2.38%
差	0.64%	0.75%	0.25%	1.09%	4.35%	26.22%

### マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	10.79%
2 輸送用機器	10.77%
3 情報・通信業	10.37%
4 銀行業	9.77%
5 化学	8.09%
6 医薬品	5.57%
7 卸売業	5.55%
8 証券・商品先物取引業	4.99%
9 その他業種	32.58%
10 現金等	1.53%
合計	100.00%

### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.73%
2 キヤノン	電気機器	3.22%
3 日本電信電話	情報・通信業	3.22%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.06%
5 KDDI	情報・通信業	3.04%
6 NTTドコモ	情報・通信業	2.70%
7 日立製作所	電気機器	2.60%
8 伊藤忠商事	卸売業	2.59%
9 東海旅客鉄道	陸運業	2.49%
10 日産自動車	輸送用機器	2.29%
合計		29.94%
組入銘柄数		116銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+6.04%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+5.39%となりました。当月の日本株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した事務機器、その他金融、移動体通信を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した空運を多めに保有していたことや上昇したITハードウェアや機械を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇したセイコーエプソン(6724)、KDDI(9433)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した日本航空(9201)、日産自動車(7201)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

### 市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	97.67%
2 東京証券取引所第二部	0.46%
3 ジャスダック証券取引所	0.33%
4 名古屋証券取引所第一部	0.01%
5 名古屋証券取引所第二部	0.00%
6 現金等	1.53%
合計	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている\*1~\*7の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

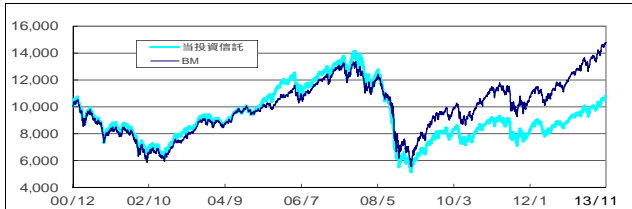
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 世界株式 [2013年11月 末日現在]

### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)を10,000として指数化しています。

### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.84%	10.73%	8.93%	22.89%	30.32%	8.13%
BM	1.28%	10.55%	10.32%	27.06%	46.61%	48.06%
差	0.56%	0.19%	▲1.39%	▲4.17%	▲16.29%	▲39.93%

### マザーファンド受益証券の詳細情報 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	54.12%
2 イギリス	11.13%
3 日本	7.16%
4 フランス	5.54%
5 スイス	5.47%
6 ドイツ	4.27%
7 カナダ	2.71%
8 オーストラリア	2.65%
9 その他の国/地域	5.42%
10 現金等	1.53%
合計	100.00%

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース  
・オポチュニティーズH(為替ヘッジあり)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス<sup>®</sup>(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

### セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 金融	21.37%
2 一般消費財・サービス	13.33%
3 ヘルスケア	12.25%
4 資本財・サービス	11.26%
5 情報技術	11.01%
6 生活必需品	10.88%
7 エネルギー	9.98%
8 素材	3.71%
9 その他のセクター	4.69%
10 現金等	1.53%
合計	100.00%

### 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 アップル	アメリカ	情報技術	コンピュータ	1.92%
2 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	医薬品	1.68%
3 ボーイング	アメリカ	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	1.63%
4 エクソン・モービル	アメリカ	エネルギー	石油・ガス	1.41%
5 三井住友フィナンシャルグループ	日本	金融	商業銀行	1.30%
6 ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	商業銀行	1.24%
7 グーグル	アメリカ	情報技術	ソフトウェア・サービス	1.23%
8 サフラン	フランス	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	1.19%
9 パーカー・ハネフィン	アメリカ	資本財・サービス	機械	1.17%
10 ウォルト・ディズニー	アメリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.15%
合計				13.92%
組入銘柄数				242銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+1.84%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)の騰落率は前月末比+1.28%となりました。

ベンチマークとの比較では、セクター配分がプラス要因となる一方、銘柄選択はベンチマーク並みとなりました。セクター配分では、公益事業セクターや素材セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄りました。銘柄選択では、金融セクターにおける選択などがプラスに寄る一方、ヘルスケア・セクターにおける選択などはマイナス要因となりました。

F.R.B(米連邦準備制度理事会)は現在のペースで景気刺激策を維持することを決定しました。しかしながら、毎月の資産購入が続けば合計額が増加し出口戦略がますます難しくなるため、先行きが一層不透明になり、株式市場のボラティリティが世界的に高まる可能性もあります。一方で、今後、米国など先進国が量的緩和縮小に着手するということは、経済環境が十分に改善したことを意味し、委託会社では株式市場にとってポジティブな面もあると見ています。

今後も、社会や経済の構造的変化が作り出す長期的な成長トレンドを捉えながら、確固たる利益成長が期待される企業の中から、株価水準が魅力的な優良銘柄を厳選する方針です。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ~9ページに記載されている「\*1~\*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

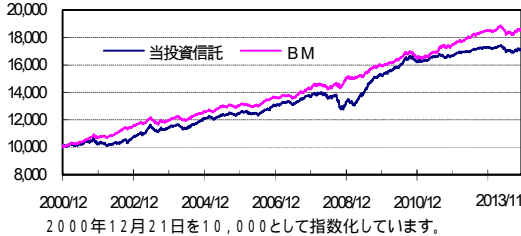
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 世界債券 [2013年11月 末日現在]

### 当投資信託の純資産価格の推移



### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.33%	0.83%	▲0.59%	▲0.86%	4.54%	125.24%
BM	▲0.14%	1.58%	0.18%	0.51%	11.35%	148.89%
差	▲0.19%	▲0.75%	▲0.77%	▲1.37%	▲6.81%	▲23.65%

### 当投資信託の詳細情報

順位	国名	投資信託
1	アメリカ	24.16%
2	イギリス	12.73%
3	フランス	7.74%
4	オランダ	7.56%
5	オーストラリア	6.83%
6	ドイツ	5.71%
7	日本	4.78%
8	国際機関	3.68%
9	その他	21.18%
10	現金等	5.63%
合計		100.00%

### 組入上位10債券種類

順位	銘柄	国名	格付		投資信託
			ムーディーズ	S&P	
1	アメリカ国債(5/15/17-8/15/20)	アメリカ	Aaa	AA+	4.43%
2	オーストラリア国債(2/15/17)	オーストラリア	Aaa	AAA	3.44%
3	日本国債(1/15/15)	日本	Aa3	AA-	3.27%
4	アメリカ国債(11/15/16)	アメリカ	Aaa	AA+	3.08%
5	イギリス国債(7/22/18)	イギリス	Aa1	AAA	2.18%
6	オーストラリア国債(9/15/16)	オーストラリア	Aaa	AA+	2.06%
7	アメリカインフレ連動債(4/15/16)	アメリカ	Aaa	AA+	2.01%
8	オランダ国債(1/15/17)	オランダ	Aaa	AA+	1.96%
9	ベルギー国債(9/28/17)	ベルギー	Aa3	AA	1.71%
10	アメリカ国債(5/15/18)	アメリカ	Aaa	AA+	1.60%
合計					25.74%

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

当投資信託の騰落率は前月末比 0.33%、一方ベンチマークであるバークレイズ・グローバル総合インデックスは前月末比 0.14%となりました。11月、当投資信託の純資産価格は軟調に推移し、ベンチマークに対しても、投資適格社債における銘柄選択やユーロ圏周縁国に対する少なめの配分を主因として劣後しました。米国投資適格社債に多めに配分するなどしたセクター配分はプラス寄与となりました。また、年限配分についても、米国における年限配分によりプラス寄与となりました。一方、国別配分については、英国への多めの配分と日本への少なめの配分からマイナス寄与となりました。通貨配分は大きな寄与はありませんでした。当投資信託では、主に投資適格債に投資する慎重なポジションを維持します。ベンチマーク対比で投資適格社債を最も多めの配分とし、カバードボンド、政府関連債、商業用不動産担保証券を若干多めの配分とします。引き続き日本およびユーロ圏周縁国への配分を少なめとします。当投資信託は、先物を使用して全体の金利の変動に対する価格感応度をベンチマーク並みとなるよう大きくしてきましたが、現在ではベンチマークよりやや小さめとしています。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ポートフォリオ(クラスS1受益証券)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー  
【運用方針】

主として多種通貨建の投資適格格付確定利付証券に投資し、利息、配当収益、割引債券における償還差益および元本の変動等をもって、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。原則として、投資信託の総資産の70%以上を米ドル建ての証券または米ドルをヘッジする証券に投資します。

当投資信託は、米ドル建ルクセンブルグ籍外国投資信託です。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(1996年11月20日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、バークレイズ・グローバル総合インデックス<sup>7)</sup>です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### 格付別構成比率

格付	投資信託
AAA	51.55%
AA	16.37%
A	20.68%
BBB	11.14%
BB	0.26%
合計	100.00%

注) 現金等はAAAに含まれます。

格付基準:

ムーディーズ社またはスタンダード&プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

### 債券種別資産構成比率

債券種別	投資信託
1 投資適格社債	34.92%
2 国債	31.17%
3 政府関連債	9.02%
4 カバードボンド	8.81%
5 国際機関債	3.68%
6 インフレ連動債	2.01%
7 地方債(地方自治体)	1.24%
8 地方債(州政府)	1.05%
9 その他	2.47%
10 現金等	5.63%
合計	100.00%

\* 国債先物取引等を含む場合がございます。

### 通貨別構成比率

債券種別	投資信託
1 アメリカドル	100.44%
2 その他	-0.44%
合計	100.00%

### ポートフォリオの状況

平均デュレーション	投資信託
	5.34

「平均デュレーション」とは、当ファンドの組入銘柄のデュレーションを平均したものです。

債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ-9ページに記載されている「\*1-7」の用語説明は、9ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



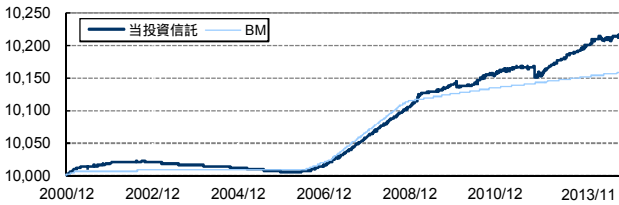
# 変額個人年金保険

## 特別勘定の月次運用レポート (2013年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 特別勘定 マネープール [2013年11月 末日現在]

#### 当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
BM	0.00%	0.06%	0.02%	0.24%	0.59%	2.14%
差	0.01%	0.04%	0.02%	0.16%	0.35%	0.57%

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.92年	50.91%
国債	1.38年	23.10%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	0.53年	27.81%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.52年	49.09%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		47.95%
コールローン		1.14%
その他		0.00%
合計	0.72年	100.00%

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート<sup>5)</sup>により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

#### 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	87.98%
A	8.02%
BBB	4.01%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準: 海外格付機関の格付を優先します。

コールローンは格付別構成比率には含まれていません。

(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)

海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

T-Billに分類された1年未満の国債については「公社債の格付別構成比率」に含めています。

「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

#### 短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

#### 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.00%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前月末比+0.01%となりました。良好な内容の経済指標の発表により、米国情債利回りは小幅上昇しました。安倍首相の経済政策と日銀の積極的な金融緩和を受けて、日本経済は上向いてきていますが、付随的に円安も進行し、円は対ドルでリーマンショック直後以来の安値水準にまで下落しました。しかし、企業は依然として今後の成長見通しについて慎重で、内需の持続的な回復にとって重要な、基本給の引き上げには前向きではありません。当月の2年国債利回りは前月比0.009%低下の0.089%となりました。委託会社は、市場参加者の多くは日銀によるもう一段の金融緩和が行われると予想しているようであることから、日本国債市場はレンジ内取引が当面続くことと予想しています。今後の運用方針として、年限の短い国債への投資で流動性を確保しつつ、質の高い社債へ投資し、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・5ページ-9ページに記載されている「\*1~\*7」の用語説明は、9ページに記載しています。

### 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- \*5 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。
- \*6 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/為替ヘッジあり/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、為替ヘッジにかかる費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。
- \*7 「バークレイズ・グローバル総合インデックス」は、バークレイズ・バンク・グループ・インテリジェンス株式会社が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他一切の権利はバークレイズに帰属します。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額個人年金保険のリスク及び諸費用について

## 【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

## 【諸費用について】

ご契約者などにご負担いただくこの保険の諸費用は、次のとおりです。

### <年金支払開始日前>

特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算する前にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
契約初期費用 (増額費用)	特別勘定繰入前	保険料の <b>2.0%</b>	保険料から契約初期費用として2.0%が控除された後の金額が積立金として特別勘定で運用されます。 (増額費用も同じ)
保険契約管理費 (積立金比例額)	毎日	特別勘定の積立金総額に対して <b>年率1.2%</b>	当社の経費に充当されます。 (基本保険金額を死亡時に最低保証するための費用および災害死亡保険金のための費用を含みます。)

\* 毎日その日の始めの特別勘定の積立金総額に年率1.2%の365分の1を乗じた金額を毎日その日の終わりの特別勘定の積立金総額から控除します。

ご契約の内容と取引の内容による費用

特別勘定のユニットプライス(単位価格)を計算した後にご負担いただく費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
保険契約管理費 (件数比例額)	月単位の契約応当日	毎月 <b>100円</b>	契約1件あたり毎月の契約応当日の前日の積立金の合計額から控除します。
積立金移転費用	移転時	<書面による移転申込みの場合> 1回目 <b>1,500円</b> 2回目以降は1回につき <b>2,300円</b> <sup>(*)</sup>	毎回の移転について積立金から控除します。
		<インターネットによる移転申込みの場合> 月1回の積立金の移転は <b>無料</b> 2回目からは1回につき <b>800円</b> <sup>(*)</sup>	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
貸付利息	月単位の契約応当日 および 貸付金の返済時	貸付金額の年利 <b>1.2%</b>	貸付金制度を利用されたとき、月単位の契約応当日および貸付金の返済時に、積立金から徴収します。
解約控除	解約時	積立金額の <b>8.0% ~ 0.8%</b>	解約日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を積立金額から控除します。
	減額時	減額に相当する積立金額の <b>8.0% ~ 0.8%</b>	減額日が契約日または増額日より起算して10年未満の場合には、経過年数(1年未満切り上げ)に応じて、減額に相当する積立金額に対して解約控除率(8%から0.8%)を乗じた金額を減額に相当する積立金額から控除します。

(\*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行なった回数

貸付制度は、ご契約が成立後、会社の定める範囲内で何回でも貸付を受けることができます。

将来、上記の内容が変更になることがあります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 変額個人年金保険のリスク及び諸費用について

その他間接的にご契約者にご負担いただく運用関係の費用は、次のとおりです。

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフ・ソリューション30 年率0.945%程度(税抜0.900%程度)	特別勘定が利用する投資信託の純資産額に対して控除いたします。
		ライフ・ソリューション50 年率1.050%程度(税抜1.000%程度)	
		ライフ・ソリューション70 年率1.155%程度(税抜1.100%程度)	
		日本株式 年率0.840%程度(税抜0.800%程度)	
		世界株式 年率0.8925%程度(税抜0.850%程度)	
		世界債券 年率0.460%程度 <sup>*1</sup>	
		マネーブル 年率0.034125%～年率0.483000%程度 (税抜0.0325%～0.4600%程度) <sup>*2</sup>	

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

\*1 世界債券のみ、ルクセンブルグ籍の投資信託を使用しているため、管理報酬等を記載しております。

管理報酬等には、予め定率として決められている管理報酬および管理会社報酬が含まれます。

その他、お客様にご負担いただく手数料には、保管報酬、管理事務代行報酬、名義書換代行報酬、ルクセンブルグ大公国の法令に基づく税金等、有価証券の売買手数料、保有する有価証券の譲渡・償還益および配当やクーポンに対する源泉徴収税等の諸費用がかかりますが、運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

\*2 マネーブルの運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

### <年金支払開始日以後>

年金支払開始日以後にご負担いただく費用

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の 契約応当日	支払年金額の1.0%	年金支払開始日以後、年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>